

岐阜県高等学校柔道新人大会 申し合わせ事項

- 危険と思われる場合には、特に機を失せず「待て」の宣告をし、傷害事故を未然に防ぐようにする。本大会では、試合場が 40.5 畳で競技を行う。隣接部分においての事故防止にはくれぐれも留意すること。
注：メモリアルセンターを会場とする場合、安全地帯は1間を目安に「待て」をかける。
ただし、1間を越えて抑え込みが継続する場合は「そのまま」を宣告し、試合場内に引き入れる。
- 絞技及び関節技の「見込み」による「一本」はとらない。
- 試合中、柔道衣の破損等により試合に支障をきたす場合には、同一チームの別の柔道衣（規定に合ったもの）の着用を認める。
- 試合中審判に意見（抗議）を言う監督に対しては三人の審判で合議し、その監督に言動を慎むよう注意をする。なお、続くならばその監督を退場させる。
- チーム編成について
 - ①男子団体試合のチーム編成は、監督1名、選手3名以上で出場できる。3名の場合は先鋒・次鋒を空け、4名の場合は先鋒を空け選手を配列する。また、全国大会への出場権は5名以上のエントリー校に限る。
 - ②女子団体試合のチーム編成は、監督1名、選手2名で出場できる。ただし、2名の場合の選手配列は、規定の体重区分による。また、全国大会への出場権は3名以上のエントリー学校に限る。
- 「技の内容」と「指導」の重み
【 一本勝ち＝反則勝ち > 技あり > 有効 > 僅差 】の順とする。
- 団体試合のチーム対チームの勝敗の決定は以下の項目に従って勝敗を決する。
 - (ア) 男子団体試合のトーナメント戦で大将同士が引き分けた場合は代表戦を行い、それでも引き分けの場合は時間無制限のゴールデンスコアを採用する。
 - (イ) 女子団体試合のトーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - イ アで同等の場合は、「一本による勝ち」が多いチームを勝ちとする。
 - ウ イで同等の場合は、「技有りによる勝ち」が多いチームを勝ちとする。
 - エ ウで同等の場合は、「有効による勝ち」が多いチームを勝ちとする。
 - オ エで同等の場合は、代表戦を行う。
- ダイビングによる「反則負け」については、全国高体連柔道部申し合わせ事項により、その後の一連の試合に出場できない。（個人試合と、団体試合は別のものと解釈する。）
- その他
 - ① 試合場におけるコーチの振る舞いについては、平成24年4月1日付け全柔連通達により、適切な対応をすること。
 - ② 脳震盪対応については、平成24年4月1日付け全柔連通達事項を遵守すること。
 - ③ 計量について
 - (1) 男子個人試合の計量は短パンで行い、サポーター等は全て外すこと。
 - (2) 女子個人試合の計量はTシャツ、短パンで行い、サポーター等は全て外すこと。